

特別企画：2013 年度九州・沖縄地区ホテル・旅館業売上高ランキング**上位 50 社の売上高合計、前年度比 3.8%増****円安で外国人宿泊客大幅増加****はじめに**

ホテル・旅館業界は、2011 年 3 月に発生した東日本大震災や福島第一原発事故の影響で、一時業績が落ち込んだものの、その後、円安やビザ発給要件緩和の効果などで外国人観光客が大幅に増加しているほか、国内旅行も堅調に推移し、2010 年度を底に回復基調に転じている。

観光庁によると、2013 年の延べ宿泊者数は 4 億 6589 万人泊で、前年比 6.0%増となった。2012 年の伸び率 5.3%を 0.7 ポイント上回り、2 年連続で 5%を超える高い伸び率を記録した。そのうち、外国人延べ宿泊者数は 3349 万人泊と、前年比 27.3%の大幅増となった。2014 年 7～9 月の延べ宿泊者数は前年同期比 0.3%減となったものの、外国人延べ宿泊者数は同 25.7%増と 2013 年 4 月～6 月以降、6 四半期連続で前年同期比 25%超の高い伸び率で推移している。

この調査は帝国データバンクの企業情報データベース「COSMOS2」（145 万社収録）から九州・沖縄地区（以下、九州地区）に本社を置くホテル・旅館経営を主業とする企業（受託運営会社も含む）1130 社を抽出。売上高上位 50 社の 2013 年度（2013 年 4 月期～2014 年 3 月期）の業績などについてまとめた（売上高は推定も含む）。本調査は 2014 年 2 月に続いて 6 回目。

調査結果（要旨）

1. 上位 50 社の 2013 年度売上高合計は 2337 億 9100 万円（前年度比 3.8%増）と 3 年連続で前年度を上回り、2010 年度を底に回復基調が続いている。
2. 売上高トップは、6 年連続でザ・テラスホテルズ（株）（那覇市）。沖縄県は前年度と同じく 15 社がランクに入り、6 年連続のトップとなった。2 位は福岡県で 13 社。
3. 県別の売上高合計は、沖縄県が 750 億 1300 万円（前年度比 4.6%増）で 6 年連続トップ。最も伸び率が高かったのは長崎県で、前年度比 9.3%増の 131 億 300 万円だった。
4. 増収企業は 33 社で、前年度より 2 社減少したものの、全体の 7 割を占めた。売上高上位 10 社のうち 8 社（前年度 9 社）が増収だった。

◆7 割の企業が増収、収益面も改善傾向

2013 年度の上位 50 社売上高合計は、前年度比 3.8%増の 2337 億 9100 万円と、3 年連続で前年度を上回った。増収企業は前年度より 2 社減少したものの、33 社で約 7 割を占めた。一方、減収企業は前年度比 2 社減の 12 社、横ばいは同 4 社増の 5 社だった。

損益の比較が可能な 39 社のうち、増益企業は前年度比 9 社増の 20 社、黒字転換企業は前年度と同じ 4 社。その一方、減益企業は同 6 社減の 7 社、連続赤字企業は同 1 社減の 5 社、赤字転落企業は同 2 社減の 1 社と、収益面も改善傾向にある。

◆県別売上高合計は 6 年連続で沖縄県、伸び率は長崎県がそれぞれトップ

県別の企業数を見ると、沖縄県が 15 社で 6 年連続トップ。2 位は福岡県の 13 社。以下、鹿児島県が 5 社、長崎県、熊本県、大分県が各 4 社。宮崎県が 3 社。佐賀県が 2 社だった。各県とも前年度と同じで変動はなかった。

県別の売上高合計は、沖縄県が 750 億 1300 万円（前年度比 4.6%増）で 6 年連続トップだった。2 位は福岡県の 701 億 5300 万円（同 3.4%増）。以下、大分県が 244 億 3000 万円（同 4.3%増）、鹿児島県が 194 億 7100 万円（同 1.9%減）、宮崎県が 159 億 7700 万円（同 6.0%増）、長崎県が 131 億 300 万円（同 9.3%増）、熊本県が 122 億 7300 万円（同 4.2%増）、佐賀県が 33 億 7100 万円（同 4.6%減）と続いた。最も伸び率が高かったのは長崎県の 9.3%で、2012 年度の伸び率 3.5%を大幅に上回った。長崎の教会群とキリスト教関連遺産への関心が高まったことやハウステンボスの入場者増などが寄与したとみられる。

県別の企業数・売上高合計

	2012年度		2013年度		売上高 伸び率
	企業数	売上高合計 (百万円)	企業数	売上高合計 (百万円)	
福岡県	13	67,869	13	70,153	3.4%
佐賀県	2	3,533	2	3,371	-4.6%
長崎県	4	11,992	4	13,103	9.3%
熊本県	4	11,777	4	12,273	4.2%
大分県	4	23,419	4	24,430	4.3%
宮崎県	3	15,070	3	15,977	6.0%
鹿児島県	5	19,845	5	19,471	-1.9%
沖縄県	15	71,695	15	75,013	4.6%
合計	50	225,200	50	233,791	3.8%

◆売上高トップは6年連続でザ・テラスホテルズ、上位3社の順位変わらず

売上高トップは、6年連続でザ・テラスホテルズ（株）（那覇市）。地場トップゼネコンの（株）國場組の関連企業として、「ザ・ブセナテラス」などのリゾートホテルやシティホテルのほか、ゴルフ場、映画館、飲食店の運営なども手がけている。円安にともなう海外観光客増加のほか、首都圏の富裕層などの主要な顧客層も堅調で、2014年3月期の年売上高は223億900万円（前年度比5.3%増）だった。

2位は、（株）エフ・ジェイホテルズ（福岡市）。地場大手デベロッパー・福岡地所（株）のグループ企業で、「グランド・ハイアット・福岡」などのシティホテルのほか、ビジネスホテル、レジャー施設などを運営している。2012年9月にグループ企業のザ・レジデンシャルスイート・福岡（株）（福岡市）を吸収合併、同年12月にはクオリティを高めたビジネスホテル「ホテルフォルツァ博多」をオープンしたほか、外国人宿泊者も増加し、2013年5月期の年売上高は115億5800万円（同3.1%増）となった。

3位は、オリックス不動産（株）100%出資子会社の（株）杉乃井ホテル（大分県別府市）。アミューズメント施設や大展望露天風呂、水着で楽しむ屋外型温泉施設、ブライダル施設などを有する大型リゾートホテル「杉乃井ホテル」のほか、温泉旅館も運営している。別府市を代表するリゾートホテルとして平日の客室稼働率も高く、2012年6月にオープンしたブライダル施設も好調で、2014年3月期の年売上高は112億円（同1.8%増）となった。なお、上位3社の順位は前年と変わらず。

まとめ

九州地区のホテル・旅館業者は、2008年9月のリーマン・ショック以降の世界的な景気悪化の影響で、2009年度から2年連続の減収を余儀なくされたものの、九州新幹線の全線開業効果などで、2010年度を底に回復基調に転じた。さらに、近年の円安進行による訪日旅行の割安感やビザ発給要件の緩和などで外国人観光客が増加している。日本政府観光局によると、福島第一原発事故の影響などで訪日外客数が621万9000人（前年比27.8%減）に減少した2011年を底に、2012年は836万8000人（同34.6%増）、2013年は1036万4000人（同24.0%増）と初めて1000万人を突破。2014年には1341万4000人（同29.4%増）と過去最高記録を更新している。海外旅行から国内旅行へシフトする動きも見られるなど国内旅行も堅調で、九州地区のホテル・旅館業上位50社の売上高合計は2337億9100万円（前年度比3.8%増）と3年連続で前年度を上回った。

2014年10月には免税品目が食料品や医薬品、化粧品などの消耗品にも拡大し、外国人観光客の増加につながると期待されている。

「週末はほとんど空室がなく、平日の稼働率も上がっている。最近では、国内客、外国客ともに宿泊単価の高い富裕層の利用も増えている。円安の恩恵が大きい」と福岡にあるシティホテルの担当者。宿泊料金については、従来の低価格志向から高価格と低価格の二極化へ変化していると

見ている。その一方、ブライダル部門は「ハウスウェディングなどとの競合で大きく落ち込んだまま」（同担当者）と厳しい状況が続いている。倒産も大幅に減少し、2013 年度（2013 年 4 月～2014 年 3 月）の九州地区ホテル・旅館業者の倒産件数は、前年度比 9 件減の 8 件と半減した。

九州地区は、豊かな自然や温泉、食文化のほか歴史遺産など観光名所も豊富だが、海外での知名度が低いのが実情。今後は、行政や観光関連企業など一体となった観光資源の整備に加えて、個人やファミリー層など小グループ外国人観光客の受け入れ体制の充実も不可欠だ。

2013年度 ホテル・旅館業売上高ランキング上位20社 （売上高は推定を含む）

順位	前年度 順位	商号	所在地	主要施設	決算月	売上高 (百万円)	売上高 伸び率
1	1	ザ・テラスホテルズ(株)	那覇市	ザ・ブセナテラス	3	22,309	5.3%
2	2	(株)エフ・ジェイホテルズ	福岡市	グランド・ハイアット・福岡	5	11,558	3.1%
3	3	(株)杉乃井ホテル	大分県別府市	杉乃井ホテル	3	11,200	1.8%
4	5	フェニックスリゾート(株)	宮崎市	シェラトン・グランデ・オーシャン リゾート	3	10,400	7.7%
5	4	(株)ホークスタウン	福岡市	ヒルトン福岡シーホーク	12	10,050	0.5%
6	7	★(株)アメイズ	大分市	HOTEL AZ	11	9,318	9.6%
7	6	城山観光(株)	鹿児島市	城山観光ホテル	3	8,997	-0.2%
8	8	(株)かりゆし	那覇市	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	3	8,475	10.6%
9	9	(株)エイチビーディコーポレーション	沖縄県恩納村	ルネッサンスリゾートオキナワ	11	7,400	0.0%
10	12	沖縄オーラコーポレーション(株)	沖縄県恩納村	リザンシーパークホテル谷茶ベイ	9	6,500	10.4%
11	10	(株)西鉄シティホテル	福岡市	西鉄グランドホテル	3	6,200	0.0%
12	11	(株)ホテル日航福岡	福岡市	ホテル日航福岡	3	6,175	1.9%
13	13	(株)ホテルオークラ福岡	福岡市	ホテルオークラ福岡	3	6,047	5.1%
14	14	(株)ニューオータニ九州	福岡市	ホテルニューオータニ博多	3	5,743	2.2%
15	15	(株)西鉄ホテルズ	福岡市	西鉄イン	3	5,350	9.2%
16	16	(株)カヌチャベイリゾート	沖縄県名護市	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	6	4,707	-0.5%
17	17	小倉ターミナルビル(株)	北九州市	ステーションホテル小倉	3	4,500	-0.6%
18	18	(株)ロワジール・ホテルズ沖縄	那覇市	ロワジールホテル那覇	12	4,346	0.9%
19	19	(株)リーガロイヤルホテル小倉	北九州市	リーガロイヤルホテル小倉	3	4,133	-1.3%
20	20	くもと新世紀(株)	熊本市	ホテル日航熊本	3	4,053	1.4%

商号欄の★＝上場企業

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 福岡支店 担当：副島
TEL 092-738-7779 FAX 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。